



# さつき沼ビオトープ

## 水鳥ゾーン

# バードサンクチュアリ

Bird sanctuary 鸟类保护区 조류 보호 구역



つき沼でよく見かけるカルガモは、冬だけではなく夏にもいる留鳥で、ここで繁殖しています。また、クイナの仲間のオオバンもさつき沼で繁殖していると思われます。これらの水鳥は春から夏にかけて水辺の草むらに巣を作り、卵を産み、子育てをします。カルガモもオオバンも卵からかえって、飛べるようになるまで2ヶ月ほどかかります。ヒナの時期は地上で生活していることが多いことから、その間に天敵のカラスやハヤブサに襲われる危険が高いのです。また、大型のトリ類だけでなく、犬や猫にも狙われます。



ルガモやオオバンが繁殖できるように、水辺の遊歩道を一部閉鎖して鳥の保護区（バードサンクチュアリ）を作りました。ここは草刈りもしないため、草の茂みで鳥が姿を隠して繁殖できる場所になります。また、ここにある土の崖は「水辺の宝石」と呼ばれるカワセミの営巣場所としても適しています。鳥たちが安心して繁殖できるように、そっとしてあげましょう。